

## 令和7年度 事業計画

今年度も新型コロナウイルスの感染流行、物価高騰が続く中、感染予防対策の継続及び増収、経費削減に向けた取り組みの強化等を行います。

### 1. 感染対策（新型コロナウイルス、インフルエンザ等）

今年度も引き続き下記対策を継続します。

- ① 感染懸念のある職員に対しては厚生労働省の指示に従い、検査・待機等、必要な措置を講じ、感染拡大予防策を徹底します。
- ② ご利用者のご家族との面会については、新型コロナウイルスの感染流行・終息の状況に合わせ、面会制限やオンライン面会を実施するとともに、ご利用者が安心して利用できる施設環境を整えるよう、感染対策を講じます。
- ③ 特養・短期入所・デイサービスのご利用者に対しては、感染疑い時に抗原検査や数日間の居室対応等を実施し、感染予防に努めます。
- ④ B C P（事業継続計画）の定期的な見直しを行い、医療機関との連携を強化し、感染発生時にもご利用者の安全を確保できる体制を整えます。

### 2. 収益向上への取り組み

（増収に向けた取り組み）

- ① 目標稼働率を達成するために、居宅ケアマネや他施設相談員、病院等との連携を強化するとともに、異変時の早期対応による重症化防止、早期退院調整等の対応を行います。
- ② 令和6年度介護報酬改定に対応し、収益増収のために新たな加算取得を目指します。

（経費削減に向けた取り組み）

- ① 各事業所及び各部署（介護・看護・生活相談員・事務等）の時間外勤務を減らすよう業務内容・分担の見直しを行い、業務の効率化・生産性向上を図ります。
- ② 生産性向上を図るための適材適所への人員配置を行い、職員配置の効率化を図ります。
- ③ 物価高騰への対応として、各部署における経費削減への取り組みを強化します。

### 3. 地域との連携強化

感染流行・終息の状況に合わせ、夏祭り等の行事やボランティアの受け入れを行い、地域とのつながりを強化します。

民生委員やケアマネージャー、公民館、病院等との連携強化を図ります。

### 4. 将来課題に対する取り組み

(ICT・IoTの活用強化と人材確保)

- ① 既に導入している、介護現場の課題解決に向けたICT・IoT機器の更なる活用と生産性向上への強化を行います。
- ② 少ない職員人数による介護サービスの質を確保し、専門職としての能力を最大限に発揮できるためのICT・IoTの活用の充実を図り、業務効率化と職員の負担軽減を目指します。
- ③ 専門職の確保ができるよう、自社ホームページ等や職員による紹介を通じた対応を行います。

(魅力ある職場づくり)

- ① 職員の頑張りが処遇に反映される人事評価の適正化と人事給与制度を検討します。
- ② ストレスがたまり、生活に支障をきたすことがないように、管理者が部下とのコミュニケーションを大切にするとともに、臨床心理士等による研修・面談等を実施し、職員の心のケアを行います。
- ③ 子育て世代やシニア世代等、それぞれの事情に合わせた働き方ができるよう、柔軟に休暇を取得できる職場環境を整えます。
- ④ 資格取得費用の一部を法人が負担し、職員のスキルアップを支援します。

(情報発信)

- ① 地域への情報開示を目的とし、見やすい、魅力あるホームページの活用及び運用と積極的な情報発信を行います。
- ② ホームページやSNSを通じて施設の魅力を発信し、幅広い年代・地域からの人材採用につなげるよう努めます。

(災害対策の強化)

BCP(事業継続計画)の定期的な見直しを行い、地域住民との連携を強化し、災害発生時にもご利用者の安全を確保できる体制を整えます。

以上